

社会保険料 (国民年金保険料) 控除証明書等の 添付・提示の義務化!!

所得税法等の一部が改正され、平成17年分の所得申告から1年間に納付した国民年金保険料を証明する書類等を添付することが義務付けられました。

このため、社会保険庁から送付される控除証明書(ハガキ)は、申告を行うまで大切に保管してください。

※問い合わせ先

千葉社会保険事務所

☎0570-009911 (専用ダイヤル)

社会福祉協議会が合併契約調印

来年3月、光町と合併することに伴い、横芝町社会福祉協議会と光町社会福祉協議会も合併することになり、10月17日に合併契約調印式が行われました。

両社会福祉協議会では、合併による事業などの調整を行うため、昨年11月に合併協議会を立ち上げ、調印までに7回の協議が行われてきました。

調印式は、町健康福祉センターで両町長、議会議長、県社会福祉協議会会長の来賓のもとに開かれ、林合併協議会長から「合併を機により一層のサービス向上を図り、だれもが安心して暮らせる町を目指したい」とあいさつがありました。

調印後は県知事への法人認可申請を行い、町の合併に合わせて来年3月27日に『横芝光町社会福祉協議会』の名称で新たなスタートをすることとなります。



▲調印をする両町社会福祉協議会長

文芸

俳句

横芝俳句栗江会

秋の夜の星空を切る翼かな

亡き祖父の自慢はどろろ汁つくり

桑名 大行

山かけの麦の御飯に戦時思ふ

山羊の村の博士は祖父なりき

長谷川正子

寄り添ひてアルバム捲る夜半の秋

自然薯や竹添え捧げつ母の許

今関満喜子

湯の音に和してせせらぐ秋の夜

つゆ味を夫の希望のどろろ汁

福田 幸子

トロロ汁声もつぎ足す峠茶屋

漁火の遠くうるみて秋の夜

玉虫 栗扇

米寿われ祝ひてくれし秋の宴

十五夜の月に向ひてなに願ふ

若梅あやめ

母の手の休むひまなしどろろ汁

どろろ汁痒きに泣きつ食べてをり

選者 藤代 ゆう

ひこばえ俳句会(五選句)

別れ来て尾花の揺れる薄暮かな

浅野 茂子

神祕にひびく猪おどし山の宿

池田 逸子

大声の自転車通る夏休み

伊藤 敬子

新蕎麦や田舎に出来し店の旗

川島 孝夫

黄金の稲穂や絹の雲流る

向後 寛

開ける窓穂波の海や黄金色

小松 藤男

一鳴りを残し風鈴箱の中

佐瀬 輝夫

花束と蓼参の人の寡黙なり

穴倉 道子

大西日どろりと溶けしチョココレート

布施 和代

残暑とはかくもはげしきこの暑さ

若梅あやめ

昼の虫本堂隅の小暗がり

渡部 和秋

短歌

夏の逝く海岸通りハマグリと

西山満里子

書きし幟が褪せてはためく

玉簾の花の白きが揺れぬを

鳥追ひのテープ鋭く光らせて

芹川 初子

くまなく月の天空渡る

鈴木 やす

見習ひたきはあるの生き方と言ひくるる

人らと集す母の一年忌

田崎 尚美

きつぱりと白花咲くも草草は

句ひゆえにか摘む人はなし

長谷川正子

「食止め」の札かけられし病室の

夫は如何にと箸のすすまず

青木 秀子

ため息をつきしがためか若き娘に

帰宅のバスで席を譲らる

島田 ますみ

自転車漕ぎつつ服を着込みゆく

中学生は朝の道に

秋葉 悦子

盲なる憂き日常には触れざりき

友はデイ・サービスの楽しさを言ふ

吉岡 信子

走り根は四方に延びる校庭の

大き桶の木を支へ育てて

永藤 滋

胃に良きと義姉のくれたるゴージャスを

ぐいと飲み干す朝のひと時

八角 三枝

玉簾の花の白きが揺れぬを

見つつし今日も臥してゐにけり

佐瀬 初音

穂り穂の田面を渡り来る風は

熟れたる稲の香り伴ふ

選者 斎藤つね子